

10月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
04/10/01 (金)	東京は早朝発表になった日銀短観が予想を上回る好数字になったことで一時円買い進むも、行って来い。欧米はG7待ちで様子見ムード強いなか、東京終盤の流れを継いで円が小安い。	・8月の失業率は4.8%、同有効求人倍率は0.83、9月の日銀短観は大企業製造業DI26 ・9月のシガン大学消費者信頼感指数は94.2、同ISM製造業景況指数は58.5、8月の米建設支出は0.8%	・中国人民銀総裁「為替制度の柔軟化にはなお準備が必要」 ・G7開催、声明は「為替相場の柔軟性を欠く主要な国・地域ではさらなる柔軟性が望ましい」と前回からほとんど変更なし	110.04 109.78 110.58 110.42	136.82 136.52 137.20 137.05	寄付 安値 高値 終値
04/10/04 (月)	東京は週末G7で為替に対する言及がなかったことからドル買いに安心感。ただ株高が上昇の足枷に。欧米でもドル高進行し、独歩高の様相。新規の材料はなかったが大過なく終わったG7が好感された。	・8月の米製造業受注は 0.1%	・米大統領候補者TV討論会 ・NY行きシガン航空機が爆破予告で英マンチェスター空港に着陸(スグに安全は確認される) ・FOMC連銀総裁「原油高が景気後退をもたらすことはない」	110.72 110.50 111.18 110.96	137.25 136.02 137.33 136.37	寄付 安値 高値 終値
04/10/05 (火)	東京はレンジ内で小動き。ただ下期外債投資需要の噂から円はクロスでやや軟調裡。欧米で再び円安進行。米雇用不安などの材料もあったが、それよりむしろ原油高が嫌気された。	・9月のISM非製造業景況指数は56.7 ・9月のチャルソジャーグレイ&クリスマス社レイオフ調査は前月から45.5%の急増 ・原油価格WTIが初の51ドル台へ	・「爆発物ある恐れ」から、イスラエル行きF15戦闘機がキプロスに緊急着陸 ・マクティアダラス連銀総裁「連銀は慎重なペースでの利上げを継続することが可能」	110.97 110.67 111.34 111.13	136.36 135.86 137.00 136.83	寄付 安値 高値 終値
04/10/06 (水)	前日欧米の流れを継げず東京は再び揉み合い。ただ朝刊紙報道もあり若干円を買い難い雰囲気あり。欧米で原油価格はさらなる上値を取りに行く展開となったが相場に対する影響は限定的に留まる。	・全国紙朝刊「UFJ銀本格捜査へ」 ・米週間原油先物在庫統計は前週比110万バレル ・関東地方で震度5の強い地震 ・原油価格続伸、52ドル台へ	・須田日銀審議委員「量的緩和のコミットメントの判断、早過ぎないだけでなく過ぎないにしたい」 ・FOMC連銀総裁「慎重なペース、の連銀声明は約束ではない。こんご変更される可能性も」	111.14 110.97 111.45 111.32	136.85 136.36 137.04 136.77	寄付 安値 高値 終値
04/10/07 (木)	東京は朝方ドルの高値をつけるも人民元切り上げの話などからドル弱含み。対円では一時110円台も。欧米は翌日の米雇用統計を睨みつつも小動き。原油高はこの日も続くが材料視されず。	・BOEが政策金利を据え置き決定 ・ECBも政策金利を据え置き決定 ・イスラエル、エジプトのホテルで爆発、少なくとも23人が死亡 ・原油価格さらに続伸、53ドル台へ	・一部韓国紙「中国が来週にも人民元を7%切り上げへ」(その後人民銀行スポークスマンが否定) ・スノ-米財務長官「9月の雇用はハリケーンの影響で悪化した恐れ」	111.33 110.94 111.42 111.20	136.78 136.49 136.96 136.61	寄付 安値 高値 終値
04/10/08 (金)	東京でドルは大幅安。対円では1円近い下落を辿った。米雇用統計発表前のオプション調整進む。欧米でドル大幅続落。米雇用統計が予想を下回ったこともあり、ドル売り殺到。対円では109円台に突入。	・8月機械受注3.1% ・パリのインドネシア大使館前で爆発 ・8月米PPI0.9% ・9月米失業率5.4%、非農業者雇用数9.6万人	・マクティアダラス連銀総裁「急激な金利上昇やドル安といった問題がいつか起こる」 ・米大統領と中国国家主席が会談、人民元の柔軟な為替制度への移行が確認された、との報道あり	111.21 109.28 111.26 109.45	136.60 135.74 136.76 135.82	24H 寄付 安値 高値 終値
04/10/11 (月)	東京市場休場もあり、アジアタイムは薄商い。目立った動意なし。欧米も総じて小動き。原油先物は一時54ドルに迫る展開となったが為替への影響は限定的。	・いわゆる「本国送金法」が米上院を通過、米大統領の署名待ちに		109.48 109.03 109.57 109.34	135.98 135.00 136.02 135.47	24H 寄付 安値 高値 終値
04/10/12 (火)	東京は休日明けの外貨不足に加え、前日の米送金法が蒸し返されたことでドル小じっかり。欧米でドルは強保ち合い。止まらぬ原油高などがドル高を支えたもののさらに買い進むまでには至らず。	・10月の独ZEW景況感指数31.3 ・原油価格はついに54ドル台へ	・キングBOE総裁「英金利はピークをつけたとは言えない」 ・スノ-米財務長官「中国は柔軟な為替制度の移行に真剣に取り組んでいる」	109.37 109.21 110.09 109.67	135.45 134.98 135.73 135.20	24H 寄付 安値 高値 終値
04/10/13 (水)	東京で円は小安い。対ドル以上にクロスで弱含み推移。下期入りのためか機関投資家の動意目立つ。欧米は原油価格や商品市況をにらみ乱高下。ドル/円も一時110円台を回復したが続かず行って来い。	・8月経常黒字1兆4470億円、9月対内外証券投資2兆81億円の流入 ・日銀が政策金利を据え置き ・日銀月報「景気は回復を続けている」と4ヶ月連続で基調判断据え置き	・WSJ紙「米J&J社は100億ドル規模の本国送金を計画」 ・一部でヘッジファンド不安説流れる	109.66 109.38 110.20 109.72	135.21 134.55 135.56 135.49	24H 寄付 安値 高値 終値
04/10/14 (木)	東京でドルは小安い。とくに大きな材料はなかったものの、前日からのファンド不安説がドルの足枷に。欧米は結果としてユーロ高。原油高から円が買い難いなか、米貿易赤字拡大を受けてドルが嫌気された。	・8月の米貿易赤字 540億ドルで過去2番目の規模に ・9月の米輸入物価0.2% ・NYダウが再び1万ドル割れ	・渡辺財務官「WTIが早期35ドル程度へ戻することは難しい」 ・バーナンキFRB理事「柔軟な為替制度は中国にとって有益」	109.73 109.13 109.85 109.64	135.51 135.19 135.95 135.80	24H 寄付 安値 高値 終値
04/10/15 (金)	東京は決め手に欠く値動き。ドル/円は25P程度のボックス相場に終始した。欧米でユーロは再び上値を試す展開に。前日に続き発表された米経済指標が湧えず、ユーロが嗜好された。	・9月の米小売売上高1.5%、同PPI0.1%、同鉱工業生産0.1%、同設備稼働率77.2%、10月のNY州製造業指数17.43、同シガン大消費者景況感指数87.5 ・WTIが一時55ドルちょうどを付ける	・福井日銀総裁「CPIが安定的にゼロを上回るまで量的緩和を継続」 ・グリーンズバウFRB議長「現在の原油高は経済に影響、ただ1970年代の石油危機で経験したような危機ではない」	109.65 108.78 109.68 109.19	135.82 135.40 136.40 136.23	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで